

Kanpuku News

2026 Winter

関複ニュース No.

13



西新井大師初詣風景（写真提供：松岡 豊（株）アイワコピー）

- 年頭所感 関複理事長 森迫 隆正
- 各部長 新年の抱負
- 令和8年 新年賀詞交歓会
- 業界情報
- プライバシーポジション認証取得後の変化
- PP維持更新研修 全国で開催



関東複写センター協同組合



Revoria Press EC2100S / EC2100

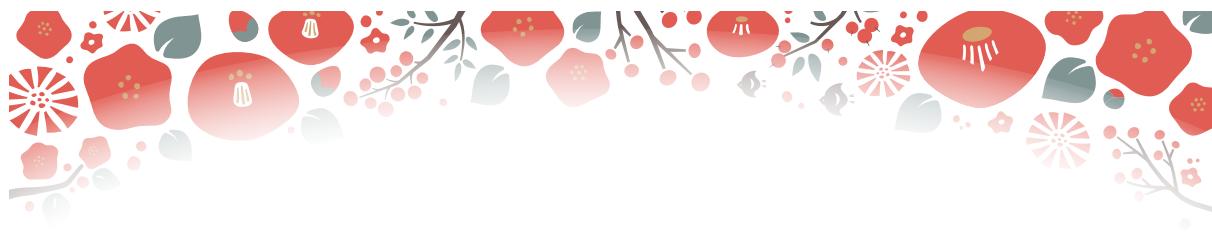
Revoria Press™

信頼性と創造力で、
ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、
プロダクション・プリントィングの領域で積み重ねた信頼性と
これまでにない付加価値を導く創造力で、
ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、
お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。



上から Revoria Press PC1120、Revoria Press SC285S/SC285、Revoria Press E1 series



年頭の挨拶

世代交代・ 時代に合った組合作り

関東複写センター協同組合
理事長 森迫 隆正



新年あけましておめでとうございます。

理事長として2年目を迎えることで改めて身の引き締まる思いです。

昨年は3つの取り組みに注力して参りましたが、なかなか難しく時間は掛かりながらも実現に向けて引き続き邁進していきます。ここ数年、オフィス内でのプリント＆コピーはペーパーレス化が加速している状況で紙媒体からデジタル化へと移行が進むことで従来のコピー機や複合機に依存する業務が減少しています。そのため業界では印刷やコピーだけでなく、デジタルドキュメント管理やクラウドサービス、データーセキュリティといった付加価値を提供するソリューションが重要なになって来ています。またリモートワークやハイブリッドの普及に伴い、企業や個人が簡単にデジタルドキュメントにアクセスできる環境が求められていることもポイントです。こうした変化の中で、複写業界が成長を続けるためには、方向性を構築していかなければならず、紙とデジタルの橋渡しを行う技術やサービスの提供、環境への配慮を含む持続可能なビ

ジネスモデルへの転換や業種や働き方の変化に合わせカスタマイズされたサービスなどが必要となり、課題は多く市場は環境問題もあり縮小傾向に舵を切り始めました。

私たちの産業は装置産業・斜陽産業と業界全体の変化を模索している状況です。今後もデジタル技術やAIは大きく進化し、業界全体もこれまで以上に多様化していかなければいけません。しかしその一方で、人と人が直接会い言葉を交わし心が触れ合う時間の大切さも改めて実感しています。若手メンバーの積極的な参加できる環境を整え実行に移すことが大切で若手理事採用を強化し、組合全体の活性化につなげることが重要です。若手の視点を取り入れ、新たな活力を注入することは、私たちの組織にとって非常に価値あると考えます。会員様・協賛会員様との関係作りも今まで以上に大切にていきたいと考えています。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



各部長 新年の抱負

《会員交流推進部長》 中村 保男



今年のお正月は、元日に親子で地元の神社へ初詣に出かけ、久しぶりに家族そろってゆっくりとした時間を過ごすことができました。新しい年の始まりに、健康と安全、そして家族それぞれの一年を願いながら手を合わせ、穏やかな気持ちで新年を迎えることができたことを、ありがとうございます。こうした何気ない時間こそが、日々を支える大切な土台なのだと、あらためて実感したお正月でした。

日頃より、関東複写センターの活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

世の中や仕事のやり方は、時代とともに大きく変化しています。便利になったことも多い一方で、直接顔を合わせて話すこと、相手の話にしっかり耳を傾けることの大切さは、今も変わらず大事にしていきたいものだと思っています。今年も、そう

した当たり前のことを大切にしながら、一歩ずつ確実に取り組んでいきます。

昨年は、ゴルフや日帰り温泉など、さまざまなイベントに多くの皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。仕事の話はもちろん、肩の力を抜いた雑談の中にも多くの学びがあり、私自身にとっても大変充実した一年となりました。

今年も、皆さんに楽しんでいただきながら、自然と交流が生まれるような企画を考えていきたいと思っています。業界のこと、仕事のこと、そして時には気軽な話もしながら、つながりをより一層深めていければ幸いです。ぜひお気軽にご参加ください。

これまで関東複写センターが積み重ねてきた信頼をしっかりと受け継ぎながら、変化を恐れず、前を向いて進んでいく一年にしていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

《教育情報部長》 今村 秀伸



新年あけましておめでとうございます。組合の皆様におかれましては、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は7月にリコージャパン株式会社様のお力添えで「リコーのAIで実現する業務改善」セミナー、また11月には富士フィルムビジネスイノベーション株式会社様提供の「未来を描く

Green Park FLOOP 体験ツアー」を開催させていただきました。そして年末より実践型事業承継セミナーを開始しております。このセミナーでは講師から問がだされます。

事例：製造業A社（年商5億・社員30名）

社長（68歳）は「まだ元気」

長男（40歳）は営業部長

「そのうち継がせるつもり」と言われ続けて10年
株の話・役割の話は一切出ていない

問1. この会社の事業継承プロセスはどうなっていますか？

問2. いま1番のリスクは何だとおもいますか？

ありがちな設定ではありますが、改めて考えてみるとかなり問題がありそうな事例ではないでしょうか？具体的な事例を参考しながら解決策を導いていく、まさに実践型事業承継セミナーとなってお

ります。3回目のセミナーが2月13日に予定されています。これまで参加されていない方もぜひ参加してみてください、経営者であればどんな立場の方でも直面する問題だと思います。

最後になりましたが、皆様のご健勝とさらなる発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

《広報企画部長代行》 松岡 豊



新年あけましておめでとうございます。

日頃より、関東複写センター協同組合の諸活動、ならびに広報活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

広報部ではこれまで、年4回発行の機関紙を中心に情報発信を行ってまいりましたが、情報の受け取り方や共有のあり方が大きく変化する中で、よりタイムリーで実務に役立つ広報の必要性を強く感じてまいりました。実際に、機関紙では情報が社内まで十分に行き渡らないケースも見受

けられました。

そこで新年度に向か、ホームページを広報の中核とし、会員の皆さまが「いつでも、どこからでも」最新情報を確認できる体制へと転換いたします。まずはイベントカレンダーや行事案内の充実を図り、今後は各事業部ページ、さらには会員限定ページの整備を進め、議事録や各種様式なども順次掲載していく予定です。

引き続き、会員の皆さまにとって使いやすく、価値ある広報を目指してまいります。本年もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

《PP事業部長》 柴田 昌彦



あけましておめでとうございます。

昨年は、巳年（へび）は脱皮して成長すると言われていますが、弊社では脱皮できないまま一年が過ぎてしまいました。

私たちの業界も、どのような方向に進むのか摸索中だと思います。コロナの発症から約6年、営業もできない状態から元に戻りつつありますが、未だに、業界によってはリモートで仕事を続いている会社もあるようです。

12月には、総理大臣が日本初の女性が選ばれ、今後どのようにになってゆくのか？世界の中では戦争、内乱などで大変な思いをしている国もあります。取り敢えず、日本が戦争などに巻き込まれぬよう願っております。インフレ等で、大変な思いもしますが、まだ日本が平和であるでの良いのではとも思います。

今後とも、組合員の発展と健康をお祈り致します。

本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

関複、令和8年 新年賀詞交歓会を開く AIと未来への展望

関東複写センター協同組合（森迫隆正理事長）は1月21日午後5時半から、「令和8年 新年賀詞交歓会」を、東京・千代田区の江戸総鎮守神田明神 明神会館で開催。来賓、賛助会員、会員ら約40人が出席しました。司会は、中村保男会員交流推進部長。

松岡豊副理事長による開会のあいさつに続き登壇した森迫理事長は、AI技術の急速な進化が社会や生活様式に大きな変化をもたらす可能性について触れ、「とくにシンギュラリティの概念を通じて、AIが人間の知能を超える瞬間が近い未来に訪れる可能性があります。これにより、労働環境や経済が再編されることでしょう」と述べ、同組合の今年の方向性については「役に立つセミナー、会員のコミュニケーションの場、親睦会など盛りだくさん企画しておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします」とあいさつしました。

来賓が紹介され、代表して東京都中小企業団体中央会総務課の竹田憲明氏は、景気回復局面が穏やかな回復基調なことにふれ、「中



森迫理事長

小企業・小規模事業者は依然として厳しい経営環境に置かれています。中央会では、皆様をご支援するとともに、販路開拓や生産性の向上、事業承継など、日頃抱える経営課題の解決に役立つ支援事業を実施しており、本年もご活用をよろしくお願ひいたします」と、あいさつ。また、昨年の組合祭りの成功を振り返り、今年10月に開催予定の10回目の記念すべき組合祭りへの協力を呼びかけました。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社担当部長の吉岡康之氏は協賛会社を代表して、あいさつと乾杯の発声を行いました。吉岡氏は「今年は60年に1度巡ってくる『丙午』です。私は丙午生まれですが、これまでいいことづくしでした。今年はチャレンジと飛躍の年とし、積極的に取り組んでまいりたいと思います」と述べました。乾杯の発声で祝宴・歓談に移り、和食×フレンチで構成された地産地消のコース料理で楽しいひとときを過ごしました。

歓談半ば、司会者からの提案で、協賛会員各社の出席者全員が自社の取り組みや業界の課題、今後の展望について述べ、情報共有や連携の重要性を強調しました。その中で東京グラフィックサービス工業会副会長の谷口美



開会のあいさつをする松岡副理事長



竹田氏



吉岡氏



谷口氏

保氏は団体の活動について「小規模な印刷会社が集まる業界団体として、少人数だからこそ柔軟に対応し、仲間と連携することで商売の幅を広げることを目指しています。今年も業界内外での連携を強化し、活動の幅を広げていきます」と述べました。また、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 GC 販売推進部マーケティンググループユニット長の塚本猛氏は、AI を搭載したプリンター「デフォリア 2120」を、株式会社日本 HP 事業本部長の沼田綾子氏はスキャンした PDF や青焼きデータを AI により短時間で CAD 図面に変換する「AI ベ



塚本氏



沼田氏



青木氏

クタライゼーション」という新製品を紹介しました。リコージャパン株式会社 PP 事業部 PP ビジネスサポート部部長の青木麗子氏は、メーカーや会員間で情報交換を行い、共有することで、AI をより身近に活用できるようにする取り組みを提案しました。

閉会のあいさつに立った柴田昌彦副理事長は「昨年も同じ場所で開催され良い結果でしたので、ここでもう一度またやりましょうということに



柴田副理事長

になりました、今年も大勢の方のご参加、ありがとうございます」と感謝を述べた後、「業界は廃業や倒産などがあり厳しい状況ですが、今年は冬季オリンピックや FIFA ワールドカップ、WBC などのイベントがありますので、これらで少し明るくなってもらいたいなと思っています」と明るい今年を期待し、一本締めで閉会しました。最後に出席者全員で、記念撮影を行いました。



関東複写センター協同組合

理事長

森迫 隆正

国際写真株式会社

〒 103-0007 中央区日本橋浜町 2-33-7

関東複写センター協同組合

理 事

今村 秀伸

富士リプロ株式会社

〒 101-0048 千代田区神田司町 2-14

関東複写センター協同組合

副理事長

松岡 豊

株式会社アイワコピー

〒 123-0845 足立区西新井本町 2-27-15

関東複写センター協同組合

監 事

北島 陽子

株式会社共立工業社

〒 102-0073 千代田区九段北 4-3-16
サンライン第 14 ビル 1 階

関東複写センター協同組合

副理事長

柴田 昌彦

有限会社ブックセンタークリエイト

〒 104-0033 中央区新川 2-15-7 坂田ビル

関東複写センター協同組合

相談役

杉山 金太郎

幸和技研株式会社

〒 160-0004 新宿区四谷 3-9 光明堂ビル

関東複写センター協同組合

理 事

早坂 淳

株式会社ケーヨー

〒 103-0023 中央区日本橋本町 4-1-6

関東複写センター協同組合

事務局

米田 和秀

株式会社日本工業社

〒 104-0033 文京区白山 2-37-7

関東複写センター協同組合

理 事

中村 保男

株式会社青工社

〒 210-0834 川崎市川崎区大島 1-30-8



謹 賀 新 年

令和7年 関複セミナーを実施

未来を描く Green Park FLOOP 体験ツアー



2025年11月27日（木）15時より、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社 横浜みなとみらい事業所にある、環境や複合技術をわかりやすく学び、サステナブルな地球の未来を探求する体験型施設「Green Park FLOOP（グリーンパーク フループ）」の体験ツアーが開催されました。



本イベントには、関東複写センター協同組合および東京ドキュメントサービス協同組合の組合員、合計10社11名の方が参加されました。

当日は、今村理事による開会の挨拶の後、関東複写センター協同組合と東京ドキュメントサービス協同組合の2グループに分かれて「FLOOP」の見学を行いました。その後、環境に配慮したご当地用紙の紹介および、デジタル印刷機「Revoria Press™ SC285S」と「ApeosPro」のデモンストレーションが行われました。最後に、東京ドキュメントサービス協同組合の梶理事長より挨拶があり、盛況のうちに閉会となりました。

アンケートでは、「環境問題についての考え方方が刺激になりました」、「シニア世代でも未来に向けて具体的に行動することの大切さを学べました」などの感想をいただきました。

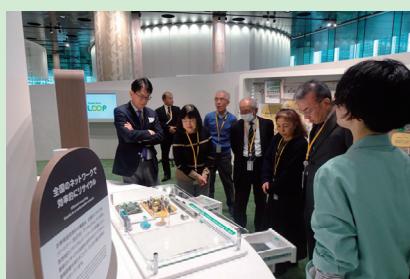
イベント終了後は、Hokkaido Gourmet Dining 北海道 横浜スカイビル店にて懇親会が開かれ、両組合員および協賛会員合わせて15名が参加し、楽しいひとときを過ごしました。



今村理事



梶理事長



FLOOP見学の様子①



FLOOP見学の様子②



ご当地用紙の紹介



デモの様子

FUJIFILM
Value from Innovation

業界情報

「秋の大イベント in みなとみらい」を開催

日帰り温泉・おいしい料理・大bingo大会を楽しむ

10月25日（土）に秋の大イベントが、万葉俱楽部みなとみらいで開催されました。参加者は、12社30名で、今年も昨年に続きご夫婦参加が5組もいらっしゃいました。開会前に既に出来上がっている方がチラホラいらっしゃいましたが、おそろいの館内着皆さんリラックスモード。

森迫理事長の開会宣言、写光テクノソリューションズ株式会社の前田様のユニークな乾杯と続き、会食がスタート。頃合いを見て松岡副理



事長のMCでグループ単位での自己紹介。そしてメインイベントの「大bingo大会」がスタート。若手代表の山内社長にサポートいただき大いに盛り上りました。今年もサプライズとして5組のご夫婦に「いい夫婦で賞」が森迫理事長から授与されました。そして恒例の柴田副理事長の締めでお開きとなりました。その後は、三々五々温泉三昧やリラックスタイムを楽しんでいただきました。



「組合まつり」に出展 複写業の可能性・方向性を発信

2025年10月29日・30日の両日、東京国際フォーラムにおいて開催された「組合まつり」に出展し、複写業の多様な可能性と新たな方向性を広く発信いたしました。



展示では「情報を活かす」「素材を広げる」をテーマに、紙にとどまらず、布・プラスチック・木材など多様な素材や加工技術を紹介し、複写業が情報を整理し次の工程へつなぐ役割を担っていることを来場者に伝えました。今回は4社が参加し、手づくり朱印帳、ガーメントプリント、レザーカット加工など、各社の強みを持ち寄り、一

体感のあるブースを構成しました。ハロウィン装飾やキャラクター演出により来場者の関心を高める成果が得られました。一方で、電源やスペース配分、配布物コスト、長時間対応などの課題も明らかになりました。今回の経験を踏まえ、早期準備と運営方法の改善を進め、次回の出展に活かしてまいります。

今後は、組合員相互の連携をさらに深めるとともに、展示内容や説明方法の工夫を重ね、来場者にとってより分かりやすく、魅力が伝わる出展を目指してまいります。



第51期定期総会・懇親会

情報ビジネスリコー会

2026年1月7日、ホテル椿山荘東京にて「情報ビジネスリコー会 第51期定期総会」が開催されました。総会は第1部の定期総会、第2部のセミナー、第3部の懇親会という三部構成で進行しました。



第1部：定期総会は冒頭、会長代行・中村保男氏およびリコージャパン執行役員・猪熊哲哉氏より挨拶が行われ、続いて議案審議へ移行しました。

第2部：セミナーは、レノボ・ジャパン合同会社の元嶋亮太氏を講師に迎え、「生成AI活用、はじめの一歩を模索する」をテーマとしたセミナーが

実施されました。生成AIの活用によって業務の見える景色がどのように変わるか、最新の技術動向や活用のヒントが紹介され、参加者の関心を集めました。

第3部：新春懇親会では、リコージャパン首都圏パートナー営業本部 本部長・長田新之介氏の挨拶でスタート。続いて鏡開きと乾杯が行われ、会員同士が交流を深める歓談の時間となりました。

新規加入会員の紹介や賛助会員代表による中締挨拶を挟み、最後は副会長・山内豊氏による閉会挨拶で締めくされました。



業界の未来を切り拓く第一歩 「業界別人材確保強化事業」キックオフセミナー開催!

2025年12月4日(木)、東京・丸の内にて「業界別人材確保強化事業（カスタマイズ支援）」のキックオフセミナーが開催されました。本事業は、東京都と東京しごと財団が連携し、中小企業の人材確保・経営力強化・DX推進などを包括的に支援するもので、今年度より関東複写センター協同組合も正式に参画。会員企業の皆様を対象とした本格的な取り組みがスタートしました。

■ セミナー概要

冒頭、森迫隆正理事長より「人材難・経営環境の変化に対応し、未来に備える力を養う絶好の機会」との挨拶があり、続いて、基調講演では“持続可能な企業づくりにおける人材確保の視点”について解説されました。

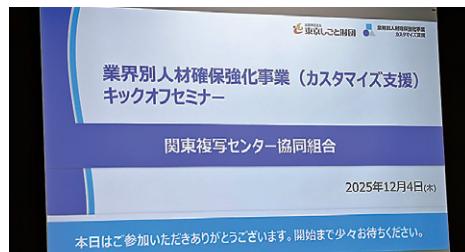
第2部では事業全体像や今後の支援スケジュールが示され、無料で受けられる専門家派遣・

セミナー・PR支援など、充実した支援メニューが紹介されました。

そして第3部では、実際に支援を担当する現役コンサルタント2名が登壇し、「コンサルティングでどんな成果が出せるのか?」「どんな課題に対応できるのか?」といったリアルな事例が語られ、参加者の関心を集めました。

■ 今後の流れ

- ・2026年1月～：各社での個別コンサルティング開始



プライバシーポジション認証取得後の変化

株式会社 青工社

弊社がプライバシーポジション（PP）認証を取得してから、しばらく年月が経ちました。今では、個人情報保護への取り組みも、特別なことではなく、日々の業務の中に自然と根付いていると感じています。

取得した当初は、社内ルールを整えたり、業務の流れを見直したりと、確認作業や記録の管理にしっかり取り組みました。一つひとつ積み重ねていく中で、少しずつ社内に定着していきました。

その結果、今では社員一人ひとりが、特に意識しなくとも個人情報を丁寧に扱うことが当たり前になっています。こうした日々の積み重ねが、業務の正確さにつながり、お客様からの信頼にも結びついていると実感しています。

弊社にとって PP 認証は、個人情報保護を形だけでなく、実際の業務の中でしっかり運用していくための、分かりやすい仕組みだと感じています。ISMS やプライバシーマークなど他の認証制度もありますが、日常業務へのなじみやすさや、社員全体の意識

をそろえるという点では、PP 認証は特に取り組みやすいと感じています。

また、認証を取得して終わりではなく、法改正や社会の動きに合わせて、運用や考え方を見直していくことの大切さも改めて感じています。

今後も PP 認証の考え方を大切にしながら、社内の個人情報の取り扱い体制をさらに整え、日々の業務の中でしっかり実践していきたいと考えています。PP 認証は、社外からの信頼につながるだけでなく、社内の意識をそろえ、業務の質を高めてくれる存在です。

これからもこの取り組みを大切にし、安心してお任せいただける会社であり続けたいと思っています。



株式会社 青工社

〒 210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島 1-30-8

TEL : 044-222-5505

「PP 維持更新研修 全国で開催」〈続報〉

北海道に続き、東日本 PP 会(11月8日・仙台、5社6名)、中部地区(11月15日・名古屋、1社15名)、関東地区(11月19日・宇都宮、1社3名)で研修が開催されました。さらに東京地区では、10月23日に9社9名、11月20日に20社21名が参加し、九州地区や中四国地区の会員企業も含めた広域開催となりました。各会場では、実際の情報漏洩事例を踏まえ、人的教育を中心とした安全管理措置の徹底が不可欠であることが共有され、PP 認定の意義と重要性を再確認する機会となりました。

東日本 PP 会の渥美会長からは、「PP 認定はPマークと同等レベルの個人情報保護制度であり、取得している事實を



東京 鈴木講師



東京



東京

より積極的に対外的にアピールすべきである」との発言がありました。また、今後の国際的な事業展開を見据え、情報漏洩防止に一層注意を払う必要性が強調されました。

神田講師からは、北海道では PP 認定が P マーク以上に認知されており、開発局管内14か所で活用されている実例が紹介されました。官公需組合が工事を一括で受注し、PP 認定を会員資格要件として組合員に分配している仕組みは、組合事業の信頼性向上に大きく寄与しているとの説明がありました。

個人情報保護法改正については、課徴金制度や団体による差止請求制度などが検討されたものの、産業界の慎重な姿勢を背景に見送られた経緯が共有されました。一方で、従業員の不正行為が会社の責任として問われる両罰規定や、受注企業が下請・再下請まで含めて責任を負う点など、企業に求められる管理責任の重さが改めて示されました。



仙台 神田講師



仙台

AI技術を活用した新機能で印刷業務を自動化・効率化する プロダクションプリンター「Revoria Press™ PC2120」 —特殊トナーのラインアップに新開発の「グリーン」を追加し、印刷可能な色域を拡大—

富士フィルムビジネスイノベーション株式会社は、AI技術を活用した新機能を搭載し、印刷業務の自動化・効率化を実現する「Revoria Press™（レヴォリアプレス）PC2120（以下PC2120）」を、2025年12月19日に発売しました。「PC2120」は、独自のAI技術により、最適な用紙設定・画質設定・画像補正を提案する機能を搭載。さらに、CMYKの4色トナーと2色の特殊トナーによる1パス6色印刷に対応しています。特殊トナーには、新開発のグリーンを追加し、ラインアップを全9種類※1へと拡充しました。これにより、出力可能な色域が拡大し、モニター上で見る鮮やかなRGBデータの色彩に近い出力が可能となり、お客様の多様なニーズに応えます。



「Revoria Press™ PC2120」

「Revoria Press™ PC2120」の技術と特長を受け継ぎ、高画質・高生産性をさらに強化
加えて、印刷業務の自動化・効率化や、より広い色域も実現

独自AI技術による自動化・効率化

「PC2120」には印刷工程の効率化と品質向上を実現する複数のAI技術を搭載。用紙設定を自動化するAI技術では、「用紙プロファイラー」に用紙をセットするだけで、独自開発のAIが用紙特性を解析します。また、画質設定を最適化するAI技術を搭載したプリントサーバー「Revoria Flow™ PC31」が入稿データの特徴を解析し、文字や細線の強調や調整などデータ特性に応じた最適な画質設定も提案。さらに、画像補正のAI技術では、入稿データに含まれる写真や画像のシーンをAIが自動判断し、人物や風景等などの色味に応じた最適な画像補正を行い、それぞれのシーンにあった色味で表現します。



用紙プロファイラー


 画像(上)：CMYK・ピンク・グリーンの6色で印刷
 画像(下)：CMYKの4色で印刷

新開発「グリーン」トナーにより、印刷可能な色域が拡大

多彩で訴求力のある色表現で印刷物の付加価値を高めることができる特殊トナーのラインアップに新開発のグリーンを追加しました。既存のピンクと組み合わせることで、さらなる色域の拡大を実現。モニター画面のように鮮やかな色彩表現を印刷物でも可能にします。また、広色域印刷に用いる特殊トナー※2を簡単に使いこなすサポート機能も充実。例えば、RGBで入稿したデータをCMYK・グリーン・ピンクの6色で印刷する場合、正確な色再現を実現するためにRGBからCMYKおよびグリーン、ピンクへの色変換が必要です。しかし、「PC2120」では、自動変換機能を搭載しているため、専門的な知識がなくとも特殊トナーを使用する広色域印刷が可能です

その他の主な特長

- CMYKトナー4色に加え、特殊トナー2色の搭載が可能。また、特殊色を簡単に使いこなすサポート機能も充実。
- 印刷中の色変動や表裏ズレを検知する「スマートモニタリングゲート※3」により、特殊トナー※4使用時でも印刷速度を維持しながらリアルタイムで自動補正が可能。生産性を損なうことなく高い印刷品質を維持。
- 業界最小クラスのトナー粒径を有するSuper EA-Ecoトナーと高解像度2400dpiによる高画質な印刷、毎分120ページ※5での高速印刷を実現。
- 「エアーサクション給紙トレイ※3」を装備することで、密着しやすいコート紙などの確実な給紙を実現。また、静電気を帯びやすいフィルム用紙や蒸着紙などに対しても、「スタティックエリミネーターD1※3」が、排出される用紙に溜まる静電気を除去することで用紙間の吸着を防ぐため、すぐに次の作業工程へ進めることが可能。
- 用紙の厚さは52 g/m²の薄紙から400 g/m²までの厚紙※6、用紙サイズは最小98×146mmのはがき用紙から最大330×1,300mmまでの長尺用紙※7に印刷できるため、様々な印刷ジョブに対応可能。
- 「検査マネジメントシステム※3」により印刷物の検品を自動で実施。

※1：特殊トナーのラインアップ（グリーン、ピンク、ゴールド、シルバー、クリア、ホワイト、カスタムレッド、テクスチャード紙、圧着）

※2：グリーン、ピンク。

※3：オプション商品。

※4：グリーン、ピンク、ゴールド、シルバー、カスタムレッド。

※5：用紙の厚さ52～400 g/m²、A4非コート紙走行時。

※6：エアーサクション給紙トレイを使用した出力時。

※7：長尺用紙に対応した給紙トレイのオプション商品が必要。

マルチベンダーのクラウドサービス連携により 業務フロー自動化で、お客様のDX推進をご支援します。

さまざまな連携によるお役立ち

リコージャパン
の強み

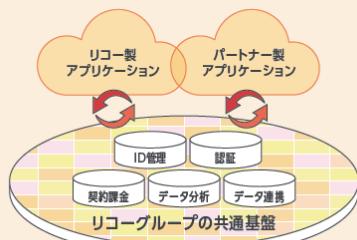
マルチベンダー

クラウドサービスを提供する
多くのベンダーとの
協力体制を築いています。



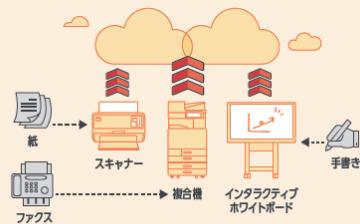
アプリケーション連携

クラウドサービスの連携を
実現する共通基盤を
強化していきます。



エッジデバイス

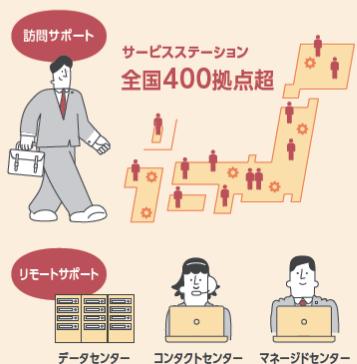
各種デバイスによる
アナログデータの連携で
DX推進を加速させます。



お客様に寄り添うデジタル化ご支援

センター＆オンライン

リモートと訪問サポートで
デジタル化の第一歩から、お客様の
負担軽減と安心活用を支えます。



認定スペシャリスト

各領域の専門知識を持つ
スペシャリストが
お客様のDXに伴走します。



リコー認定スペシャリスト 延べ1,000名超
(2025年6月現在)

クラウドサービスの“for RICOHモデル”

ベンダーのサービスを
より使いやすくしてご提供し
便利に活用いただけます。



※記載の内容は、for RICOHモデルのご支援セット例です。

- 〈 for RICOHモデル商品例 〉
- Bill One for RICOH
- HENNGE One for RICOH
- ビジネスアドバイザリーサービス for RICOH
- ATTAZoo+ for RICOH
- オリコプログリーンズ サブスク版(for RICOHモデル)



オンラインオプションで実現する印刷業務の自動化と省力化!

印刷業務の自動化・省力化を推進するソリューションをご紹介します。imagePRESS V1000に「検査装置」「自動調整ユニット」「除電装置」などのオンラインオプションを接続し、オペレーションコストの削減と印刷物の安定品質を両立する仕組みをご提案します。

実際にご導入いただいたお客様の活用事例もあわせてご紹介します。

印刷ビジネスに変革を

～インクジェットが切り拓く未来～

page2026キヤノンブースでは、「印刷ビジネスに変革を」をテーマに、高い稼働率を達成しながら高品位印刷を実現し、生産性向上やビジネス発展を支援する枚葉カラーアイントラベラル印刷機「varioPRINT ixシリーズ」の最新情報をお届けします。そのほか、生産現場の自動化・省力化を推進する「imagePRESS Vシリーズ」を中心に、各種ソフトウェアソリューションや、大判インクジェットプリンターの最新機種をご提案します。キヤノンのインクジェットテクノロジーで広がる印刷ビジネスの新たな可能性を、是非キヤノンブースでご体感ください。

皆さまのご来場をお待ちしております。

キヤノンマーケティングジャパングループ



展示内容のご案内

インクジェットテクノロジーでビジネス領域を拡大!

ポスターの小ロット多品種・短納期対応を実現!

期間限定の商品・販促キャンペーンや多数のキャラクターのアートポスターなど、小ロット多品種化が加速しているポスター印刷に、高生産性と品質の安定性を併せ持つ「Colorado」をご使用いただいております。省力化を実現するソリューションと共にご紹介します。



64インチ対応UV硬化型大判プリンター
Colorado Mシリーズ*



*実機展示はございません

新顔料インクにより傷がつきにくく、作品の長期保存を実現!

imagePROGRAF PRO/GPシリーズの新顔料インクは、優れた発色性と写像性はそのままに、耐光性(200年)と耐擦過性を向上させました。これらのことにより優れた画質と耐光性を両立し、作品の取り扱いの容易さも実現しています。またソリューションとして「ウェブ版PosterArtist」を活用した簡単ポスター作成の成果物をご紹介します。



大判プリンター
imagePROGRAF GP-2600S

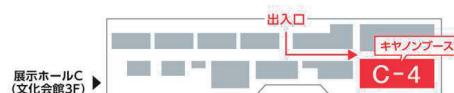


大判プリンター
imagePROGRAF PRO-1100

page2026

会場及びキヤノンブースのご案内

サンシャインシティコンベンションセンター
キヤノンブース：展示ホールC(文化会館3F) C-4



〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1
●JR山手線・埼京線/東京メトロ丸ノ内線・有楽町線/東武東上線/西武池袋線 各線池袋駅より徒歩8分
●東京メトロ有楽町線:東池袋駅より徒歩3分



プライバシーポジションの維持管理に役立つ 鈴木先生の質問回答コーナー

株式会社コンサルティング・オフィス
鈴木 昂司（中小企業診断士）



人的要因による情報漏洩をどう防ぐか ～不正のトライアングル理論から考える～

昨年の維持更新研修では、個人情報漏洩が増加傾向にあり、その約4割が管理不足や誤操作、内部不正といった内部の人的要因によるものであることをお伝えしました。今回は、従業員による内部不正と、その予防策について考えます。

アメリカの犯罪学者ドナルド・R・クレッシーが提唱した「不正のトライアングル理論」によれば、不正行為は、「動機」「機会」「正当化」という3つの要素がすべて揃ったときに発生するとされています。

「動機」：不正行為を行うための心理的な要因

- ・経済的な困窮、借金など金銭問題
- ・金銭を得たいという欲求
- ・労働環境によるストレス
- ・会社への不満
- ・失敗の隠蔽など

「機会」：不正行為を行うための状況や環境が整っていること、不正行為を行うための心理的な要因

- ・内部統制が不十分で監視が甘い
- ・操作ログの取得など不正行為を監視するシステムがない
- ・機密情報へのアクセス制限の管理をしていない

- ・USBなど外部記録メディアへの書き出しが簡単にできる

「正当化」：自分の行為を正当化するための言い訳や理由

- ・自分を適切に評価しない会社が悪い
- ・影響は小さいのでこれくらいの不正は問題ないだろう
- ・給料など待遇を良くしない会社が悪い

この理論の重要な点は、3つの要素のうち1つでも取り除けば、不正は防止できるという考え方です。中でも「機会」への対策は、企業側が最も主体的に取り組みやすい要素であり、動機や正当化が生じたとしても、不正が実行される可能性を大きく下げることができます。

具体的には、権限の分散や承認体制の整備、ログ管理やアクセス制限などのセキュリティ対策が有効です。また、従業員を正当に評価する制度や日常的なコミュニケーション、教育・研修や規則の明確化も重要な防止策となります。

このように、「不正のトライアングル理論」は、従来行ってきた個人情報漏洩対策を別の視点から整理し直すための考え方です。この視点が腹落ちしていれば、新たな状況変化が生じた場合でも、柔軟に適切な対策を講じることが可能になります。今後も引き続き、人的要因による情報漏洩防止に取り組んでいきましょう。

『Kanpuku News』表紙掲載写真ご提供のお願い

Kanpuku News では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様の協力で投稿頂いております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題 材：フリー

撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能

※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい

送付先：メールにて以下へ送付して下さい

kjun@keyo.co.jp

※写真は横長タイプを推奨します



■今月号の掲載写真

西新井大師初詣風景

松岡 豊 (株)アイワコピー



Kanpuku News No.12: 米田 和秀氏
秋彩の摩周ブルー



Kanpuku News No.11: 早坂 淳氏
東京湾の風景



Kanpuku News No.10: 早坂 淳氏
京都・島田耕園先生作の『御所人形』

関東複写センター協同組合季刊誌

Kanpuku News

2026 Winter No.13

令和 8 年 2 月 1 日発行

購読料／年間購読 2,000 円（消費税・送料込み）
1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：関東複写センター協同組合
広報企画部 Kanpuku News 編集委員会

発 行 所：関東複写センター協同組合

住 所 〒112-0002

文京区小石川 1-4-12

文京ガーデン ザ ウエスト 704 号室

T E L 03-3815-4338

F A X 03-3815-4357

E メール info@kfcc.or.jp

U R L <https://www.kfcc.or.jp>

印 刷 所：株式会社ケーヨー

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、

印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していくます。

印刷事業者の“真”的パートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコージャパンの

新たなビジネスコンセプトです。

Canon

現場が求める
一台。



印刷現場が求める、安定性と生産性、
そして高いメディア対応力を発揮。顧客ニーズに
応えた高品質な成果物で、プリントビジネスの
新たな可能性を生み出します。

品質が
雄弁に語る、

imagePRESS
V1000



◎オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただき、ハガキの場合は、
住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2
キヤノンマーケティングジャパン(株)カタログ請求「imagePRESS」係までお送りください。
※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。



◎キヤノンお客様相談センター
プロダクション向け
複合機

0570-08-0053

(ナビダイヤル) ※おかげ間違いのないようにご注意願います。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

平日9:00~17:00
[受付時間] (土・日・祝日および年末年始
弊社休業日は休ませていただきます。)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社